ボツワナ共和国月報（2025年3月）

主な出来事

【内政】

○　ボコ大統領、国民に将来世代への責任を訴える

【外政】

○　ボコ大統領訪米

○　ボツワナ、キルギス共和国と外交関係を樹立

○　ボツワナ・ロシア外交関係樹立55周年

○　カーマ元大統領、アンゴラで一時拘束

○　ハオラテ副大統領の欧州訪問

○　ボコ大統領の就任式出席

○　ブレア元英国首相のボツワナ訪問

○　ボコ大統領のモザンビーク訪問

【SADC関連】

○　SADC閣僚会合

○　SADC特別首脳会合

○　ボツワナ、SADC議会設置のSADC条約修正の合意に署名

【経済】

○　S&A格付け−見通しを「安定的」から「ネガティブ」へ−

○　インフレ率（2025年1月）―2．7%―

○　国際商品貿易統計（2025年1月）

○　電力統計（2015年から2024年）

○　鉱業統計（2015年から2024年）

○　2024年通期GDP（暫定値）−対前年比実質GDP2．7%増

○　国際関係省とボツワナ大学、覚書に署名

【保健】

○　マラリアの感染拡大

【スポーツ】

○　ハボローネが2026年世界リレーの開催地に決定

【館内関係】

○　着任レセプションの開催

【内政】

〇 ボコ大統領、国民に将来世代への責任を訴える

９日、米国を訪問中のボコ大統領は、ワシントンDCで、ボツワナ国民に向けた演説を行い、国民一人一人には将来の世代への責任があるとした上で、未来を変えるための積極的な行動を求めた。

【外政】

〇 ボコ大統領訪米

１日から９日、ボコ大統領は米国を訪問した。今回の訪米の主目的は、ボツワナ国際科学技術大学（BIUST）が開発したボツワナ初の衛星「BOTSAT-1」の打ち上げに立ち会うことだったが、打ち上げ予定日が再調整となり、衛星の打ち上げは１５日に成功した。

７日、ボコ大統領はルビオ国務長官とワシントンで会談し、保健、民主主義、貿易、投資等、両国が長く協力してきた分野について議論を交わした。アフリカの首脳がトランプ政権上層部と会ったのはボコ大統領が初めて。

その他、米国滞在中、ボコ大統領はロサンゼルスで同市長や経済界、国際機関等との会談を実施した。

〇 ボツワナ、キルギス共和国と外交関係を樹立

５日、バイサロフ・キルギス共和国副首相はジャパロフ同国大統領特使としてボツワナを訪問し、ブタレ国際関係大臣と共に、外交関係樹立の共同声明に署名した。

〇 ボツワナ・ロシア外交関係樹立５５周年

６日、ボツワナ・ロシア外交関係樹立５５周年を祝し、ブタレ国際関係大臣とラブロフ外務大臣は祝辞を交換した。祝辞の中でブタレ国際関係大臣は、ボツワナは共通の価値観と相互尊重に根差したロシアとの長年の友情を大いに尊重することを強調し、ロシアのボツワナの発展への支援と貢献、特に教育、健康、安全保障分野について、深い感謝の意を表明した。ラブロフ外務大臣は、ボツワナ国民の幸運を祈念するとともに、ボツワナの成功と繁栄を願うとした。

〇 カーマ元大統領、アンゴラで一時拘束

１４日、カーマ元大統領がアンゴラの空港で８時間に渡り身柄を拘束された。元大統領は、アフリカ民主党員プラットフォームの主催する会議に出席するため、他国の代表団とともにアンゴラに到着したところを拘束されたが、拘束についてアンゴラ当局からの説明はなかった。

〇 ハオラテ副大統領の欧州訪問

17日～19日、ハオラテ副大統領はベルギー、ルクセンブルク、フランスを訪問し、各国及びEUの副大統領や財務大臣等と会談すると共に、欧州投資銀行等機関投資家との会合を持ち、投資戦略等について意見交換した。

〇 ボコ大統領の就任式出席

21日、ボコ大統領はナミビアの第5第大統領に選出された、ナンディ・ンダイトワ大統領の就任式に出席した。

〇 ブレア元英国首相のボツワナ訪問

25日、ブレア元英国首相がボツワナを訪問し、ボコ大統領を表敬した他、ブタレ国際関係大臣等の閣僚らと会談を行った。

〇 ボコ大統領のモザンビーク訪問

27日～28日、ボコ大統領はモザンビークを訪問し、チャポ大統領と首脳会談を実施した他、両首脳は、ナカラ港の視察、SADC人道・緊急オペレーションセンターを訪問した。この訪問には、ブタレ国際関係大臣、ケネウェンド鉱物・エネルギー大臣、サラカイ交通・インフラ大臣が同行した。

【SADC関連】

〇 SADC閣僚会合

12～14日、SADCの閣僚会合がジンバブエのハラレで開催され、ブタレ国際関係大臣が出席した。ブタレ大臣は、ムルウィラ・ジンバブエ外務大臣・国際貿易大臣と会談も実施した。会合には、国際関係省および財務省の政府高官が同行した。

〇 SADC特別首脳会合

13日、SADC特別首脳会合がオンラインで開催され、議長を務めるムナンガグワ・ジンバブエ大統領やボコ大統領他が参加し、コミュニケにてSAMIDRCの任務で殉職した兵士とその遺族に深い哀悼の意が示されるとともに、SAMIDRCの任務終了と段階的撤退開始の指示が明記された。

〇 ボツワナ、SADC議会設置のSADC条約修正の合意に署名

26日、ボコ大統領はSADC議会設置のためのSADC条約修正の合意に署名し、長年の懸案であるSADC機関への議会追加が一歩前進した形。

【経済】

〇 S&A格付け−見通しを「安定的」から「ネガティブ」へ−

１４日、Ｓ＆Ｐグローバルレーティングは、ボツワナ（ソブリン格付）及びボツワナ銀行（中央銀行）の将来見通しを「安定的」から「ネガティブ」へ変更した。他方、これらの長期格付けは「BBB+」及び短期格付けは「A−2」に据え置いた。

〇 インフレ率（2025年1月）―2．7%―

２月の年間インフレ率（前年同月比）は2．７%となり、前月（２．５%）から0．２ポイント上昇した。分野別寄与度は、上位から食品・非アルコール飲料(０．８%)、雑貨・サービス(０．７%)、アルコール飲料・タバコ（０．３%）。

〇 国際商品貿易統計（2025年1月）

１月のボツワナの輸入額は66．532億プラで、2024年12月の80．599億プラ（改定値）から17．５%減少した。輸入総額の19．４%を燃料が占め、次いで機械・電気機器が17．５%、食品・飲料・タバコが16．７%、ダイヤモンドが13．１%となっている。輸入元は南アが54．６%、次いでナミビアが12．３%、中国が6．９%、モザンビークが3.3%、米国が3.0%と続いている。

また同月のボツワナの輸出額は30．425億プラで、2024年12月の50．969億プラ（改定値）から40．３%減少した。輸出総額の49．３パーセントはダイヤモンド、32．2パーセントは銅が占めており、輸出先は、UAEが20．９%、南アが17．５%、中国が15．６%、豪州が15．３%、インドが11．６%と続いている。

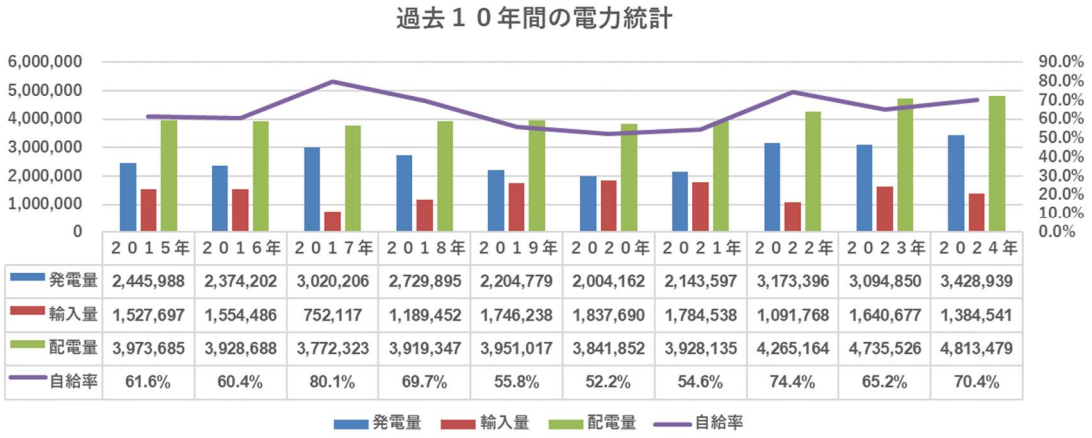
結果として同月の貿易収支は36．107億プラの赤字となり、2023年9月以降、17カ月連続の貿易赤字となった。

○ 電力統計（2015年から2024年）

2024年通期の配電量は4,813,479メガワット、うち国内発電量は3,428,939メガワットで自給率は70．4%であった。

2024年第4四半期における輸入電力量は1,384,541メガワット、その内訳（輸入元）は、Eskom（南ア）が70.6%、Zesco（ザンビア）が19.3%、南部アフリカ・パワープール（SAPP）（注）が2．4%、ナミビア及びザンビア国境の長村落間の電力融通が7．7%であった。また同期における電力源は、石炭が97．6%、ディーゼルが2．1%、太陽光が0．3%であった。

（注）南部アフリカ地域12カ国間の電力供給を目的とした組織。ジンバブエに事務局が設置。



	２０１５年	２０１６年	２０１７年	２０１８年	２０１９年	２０２０年	２０２１年	２０２２年	２０２３年	２０２４年
発電量	2,445,988	2,374,202	3,020,206	2,729,895	2,204,779	2,004,162	2,143,597	3,173,396	3,094,850	3,428,939
輸入量	1,527,697	1,554,486	752,117	1,189,452	1,746,238	1,837,690	1,784,538	1,091,768	1,640,677	1,384,541
配電量	3,973,685	3,928,688	3,772,323	3,919,347	3,951,017	3,841,852	3,928,135	4,265,164	4,735,526	4,813,479
自給率	61.6%	60.4%	80.1%	69.7%	55.8%	52.2%	54.6%	74.4%	65.2%	70.4%

○ 鉱業統計（2015年から2024年）

10年間の鉱物別生産高推移

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
ダイヤモンド（単位：千カラット）	20,823	20,892	22,941	24,496	23,686	16,868	22,696	24,479	25,095	18,324
金（単位：キログラム）	753	832	921	1,105	943	851	649	427	331	20
銀（単位：キログラム）	2,801	NA	NA	NA	NA	NA	10,383	31,174	42,955	35,423
銅（単位：トン）	8,396	NA	1,239	1,462	NA	NA	11,742	44,269	54,808	48,758
ソーダ灰（単位：トン）	243,369	280,457	226,667	297,237	264,119	238,476	261,838	285,215	262,052	298,417
塩（単位：トン）	404,295	399,837	369,613	392,244	383,779	418,379	484,628	323,303	387,956	370,021

○ 2024年通期GDP（暫定値）−対前年比実質GDP2．7%増

2024年通期の実質GDP（暫定値）は、鉱業及びダイヤモンド貿易がそれぞれ対前年比でそれぞれ24．1%減、34．1%減となったことにより、結果として3．0%のマイナス成長となった。

【教育】

〇 国際関係省とボツワナ大学、覚書に署名

２０日、国際関係省とボツワナ大学は外交と国際関係分野における人材の能力開発に関する覚書に署名し、今後国際関係省が開所を目指す外交研究所の設置の支援に加え、外交・国際関係分野における政府全体の人材育成を目指す狙い。

【保健】

〇 マラリアの感染拡大

２５日、保健省はボツワナ北部オカバンゴ地区からマラリアの流行が始まり、ンガミランド、ハンツィなど北部や中西部、チョベやボテティなど北東部に拡大しており、東部のフランシスタウンや南部の首都ハボローネでも感染が確認されるなど、過去４週間で感染の報告が大幅に増加していると発表した。

【スポーツ】

〇 ハボローネが2026年世界リレーの開催地に決定

ワールド・アスレティックスは、2026年世界陸上リレーをボツワナのハボローネ（2026年5月2～3日）で、2028年世界陸上リレーをバハマのナッソー（2028年4月22～23日）で開催することを決定した。2026年世界陸上競歩団体選手権は、2026年4月12日にブラジルのブラジリアで開催される。

【館内関係】

〇 着任レセプションの開催

２０日、進藤雄介駐ボツワナ日本国特命全権大使の着任レセプションが日本国大使公邸で開催された。モワサ国際関係大臣代理は、ボツワナと日本の友好関係と協力の強い絆に感謝の意を表明するとともに、ボツワナが日本との緊密な協力を醸造することを楽しみにしているとし、本使に実りある任期を願うとした。本使は、ボツワナは民主主義の証明であることを称賛し、ボツワナの経済成長、産業多様化、人材育成に向けたイニシアチブを支援することを楽しみにしている旨述べた。

（了）